



特集

子ども食堂

地域でつくるみんなの居場所

子ども食堂とは

子ども食堂は、地域の方々が運営し、子どもに無料や低額で栄養のある食事を提供する場です。経済的に苦しい家庭の支援はもちろん、孤独感の解消や孤食対策のため、地域での子ども居場所づくり、多世代交流を目的としています。

市内の4つの居場所

子ども食堂の数は、全国で9千力以上※、県内で4百力以上※あるとされます。市内では、4つの団体が子ども食堂を運営し、コロナ禍以降はお弁当を提供しています。各団体が月1回程、毎週末市内のどこかで開催されるよう、4団体で日程を調整しています。学習支援やイベントを企画している団体もあり、それぞれが違う問題意識を持ち運営しています。

※NPO法人全国子ども食堂支援センター
むすびえ調べ（令和6年2月発表）

誰もが心地よい

居場所を目指して

平成30年に開設された「みんなの食堂」は、市内で最初の子どもの食堂です。運営団体は、NPO法人羽生の杜。理事長の田村さんは、子どもが楽しく過ごせ、親同士で子育ての話が出来る場所を作りたいと思い、子ども食堂を始めました。当初は、平日17時～19時に夕食を提供するという、仕事終わりの家族に向けたものでした。翌年からフード・パントリーの活動も始め、たくさんの人と接する機会が増えたことで、さまざまな人、家族の成り立ちが見えてきたそうです。



7月2日(火)、羽生の杜に4団体が集まり、各団体の現状や考え、今後の活動などを話し合いました。



お弁当提供のほかに、ご寄付いただいた旬の野菜をお土産に差し上げています。



みんなの食堂

- ▼日時 毎月第2土曜日、第4日曜日
※8月と12月はお休み。ただし別プログラム有
- ▼場所 桑崎1331-2 ▼対象者 誰でも可
- ▼費用 子ども100円（高校生まで）
大人300円（世帯上限500円）
- ▼利用方法 事前登録制。詳しくは下記問合せへ。
- ▼問合せ NPO法人羽生の杜 田村宛 ☎090-3348-2149

現在は月2回、お弁当を提供し、受け取りに来た方々とコミュニケーションを図っています。「必要とする人に安心して来てほしい」と田村さんは話します。

羽生の杜は、食材をご寄附していただく団体・企業や、食事を作ってくれるボランティアの皆さんなど、たくさんの方の支援で成り立っています。今後みんなの食堂は、ひとり親家庭はもちろん、孤食の高齢者や外国人家族など、誰もが食を通じてつながれる地域の居場所としてあり続けます。

どの子も

命いっぱい輝かせて

「どの子も命いっぱい輝かせて成長してほしい」そう話すのは、NPO法人羽生子育てサポート「キャロット」の代表理事を務める春山さん。活動を始めたきっかけは、親子のために何かできないかと思ったこと。県の家庭教育アドバ

イザーの研修を受け、子育てに悩む家庭に寄り添います。「夢や希望をあきらめずに、未来を自分の力で切り開いてほしい」そのために、小・中学生、高校生を対象とした無料学習塾「ういんぐ」の運営と、そこに通う子どもに、月1回の食事を提供しています。「子どもは未来からの贈り物。みんなの笑顔に出会える事が私たちの喜びです」苦しい生活の中でも、懸命に働いている親を応援し、子どもと親に食事を提供することで、親と子がホッとする場を作ります。



中央公民館の調理室を借りて、無料学習塾「ういんぐ」に通う子どもたちに、お弁当を作ります。

子ども食堂キャロット

- ▼日時 毎月第4土曜日 13時～16時 ▼場所 中央公民館
- ▼対象者 無料学習塾「ういんぐ」に通う小・中学生、高校生
- ▼費用 子ども無料、大人300円
- ▼問合せ NPO法人羽生子育てサポートキャロット
春山宛 ☎090-5560-2929

★会員募集中 子ども好きな方、子育て経験を活かしたい方。
どなたでも大歓迎。年会費1,000円 賛助会費500円



春山教子さん

愛情いっぱい！目玉焼きと生姜焼きのお弁当。毎回60～70食のお弁当を提供しています。



子どもから大人まで みんなで楽しくわいわいと

令和4年5月に始まった「子ども食堂のびのび」。代表の根岸さんは、子どもや親子、高齢者、全ての世代が和気あいあいと楽しく過ごせる居場所づくりのため、市社会福祉協議会の協力や、羽生の杜の助言のもと、立ち上げを進めました。食材は、企業や野菜を作っているボランティアスタッフ、個人などからご寄付をいただき、20人のスタッフ



(上) 7月6日(土)のお弁当提供日。この日は175食のおいしいお弁当が用意されました。

(左) 当日は暑かったため、カフェは室内開催。くつろぎの場で、会話にも花が咲きます。

子ども食堂のびのび

- ▼日時 毎月第1土曜日
イベント 10時～、お弁当配布 11時30分～13時
- ▼場所 須影708 (須影集会所)
- ▼対象者 誰でも可
- ▼費用 子ども100円 (高校生まで)、大人300円
- ▼利用方法 事前登録制。詳しくは下記問合せへ。
- ▼問合せ 根岸宛 ☎090-3818-3606



根岸富美子さん



本日のミニイベントはボタンブローチ作り。

子どもたちを笑顔に おいしい食の提供

令和4年11月にオープンした「子ども食堂えがお」代表を務めるのは井野岡勇さん。子育て世帯を中心に、子どもから高齢者まで、誰でも利用できます。作るお弁当は、味はもちろん、見た目の彩りにも気を配ります。「煮豆とか若いお母さんが作らないような、手間をかけたものも入れています」と妻の糸子さんは話します。子どもが笑顔になります。

おいしい食を提供するのがモットーの「えがお」は、リピーターも増え、現在は1回で200食以上の申込みが来るほどの人気ぶりです。SNSなどで、レシピの公開や感想の募集などでもしており、おいしかったという喜びの声が「えがお」の皆さんのやる気の原動力だと話します。最近、持ち帰らず会場で食べていく方も増え、地域の人たちの憩いの場として、広く親しまれています。



6月29日(土)は、特製油淋鶏弁当。2度揚げでサクツとした食感に仕上げます。



かけ紙には、今日の献立や食べ物の説明が書いてあり、子どもの食育にも力を入れています。



当日は30人近くのスタッフが、お手伝いにつけつきました。

子ども食堂えがお

- ▼日時 8月18日(日)・9月28日(土) ※10月以降も開催 11時～13時
(毎月1回。他団体と重ならないよう調整)
- ▼場所 秀安715 ▼対象者 誰でも可
- ▼費用 子ども100円(高校生まで)、大人300円(世帯上限600円)
- ▼利用方法 ラインでの事前登録制。右コードからお友達登録し、所定のフォームに必要事項を入力しお申込みください。※電話でも承ります。
- ▼問合せ 井野岡宛 ☎562-1712



井野岡勇さん・糸子さん



えがお公式
アカウント

フードドライブ FOOD・DRIVE にご協力ください

フードドライブとは、ご家庭で食べきれない食品を少しずつ持ち寄り、必要とされる方や、福祉団体などへお渡しする活動です。

▼提供いただきたい食品例

米、缶詰、レトルト食品、カップ麺など

※常温保存ができて未開封で賞味期限内のものに限ります。

▼日程(受付時間 10時～15時)

9月21日(土) 三田ケ谷公民館

9月28日(土) イオンモール羽生 1F 東コート

※9月28日は受付時間 10時～18時

10月26日(土) 中央公民館

11月30日(土) 村君公民館

令和7年

1月11日(土) 岩瀬公民館

2月22日(土) 井泉公民館

3月29日(土) 新郷公民館



▼問合せ 市社会福祉協議会 ☎内線 544

新たな居場所 フード・パントリー

フード・パントリーとは、生活に困っている一人親家庭などを中心に、団体や企業からご寄付いただいた食品を無料で提供する活動です。市内では、羽生の杜と羽生子育てサポートキャロットの2団体が運営しています。提供する際、子どもや保護者から困りごとを聞き、必要に応じて関係機関につなげる地域のセーフティネットとしての役割

子ども食堂、フード・パントリーはたくさんの方々のご寄付、支援で成り立っています。皆さまのご支援、協力をお待ちしています。



両団体とも受取場所は羽生の杜になります。

も果たしています。

羽生の杜子育て応援フードパントリー

- ▼日時 偶数月第3土曜日 13時～15時
- ▼受取場所 桑崎1331-2
- ▼問合せ 田村宛 ☎090-3348-2149



羽生フードパントリーキャロット

- ▼日時 奇数月第3土曜日 13時～15時
- ▼受取場所 桑崎1331-2 ※羽生の杜と同じ場所
- ▼問合せ 春山宛 ☎090-5560-2929

